

## 「広域連合委員会」におけるカーボン・オフセットの実施と 環境負荷削減の取組について

平成27年12月24日  
本部事務局  
広域環境保全局

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、カーボン・オフセット制度の普及等、クレジットの広域活用について取り組んでいます。

関西広域連合委員会の開催に伴い排出される温室効果ガスを“実質的にゼロ”とするカーボン・オフセットの取組を夏季・冬季の2回実施しますが、本会議を冬季の取組とし、カーボン・オフセットに併せて独自の環境負荷削減にも取り組みます。

### 1. カーボン・オフセットを実施する会議

平成27年12月24日（木）開催の「広域連合委員会」

### 2. 独自のCO<sub>2</sub> 排出削減等の取組について

- 資料の集約印刷（紙使用量の削減によるCO<sub>2</sub>排出量の削減や資源の節減）
- カーボン・オフセット付きコピー用紙の利用（商品の選択によるさらなるCO<sub>2</sub>排出量の削減）
- マイボトルの利用（ごみやCO<sub>2</sub>排出量の削減）

### 3. 取組結果の広報

取組の完了報告や削減実績等をホームページで公表するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

#### （参考）

#### 1) 会議に伴うCO<sub>2</sub> 排出量（推計）について

夏季(9月27日実施済み) 職員の移動、会議室の電力、紙使用など（実績） ……約700 kg-CO<sub>2</sub>

冬季(12月24日(今回)) 夏季の排出量から独自削減による量\*を控除（推計） ……約640 kg-CO<sub>2</sub>

※ 紙の削減などにより、約60kg-CO<sub>2</sub>削減（スギ4本が1年間で吸収するCO<sub>2</sub>量に相当）

#### 2) 調達するクレジットについて

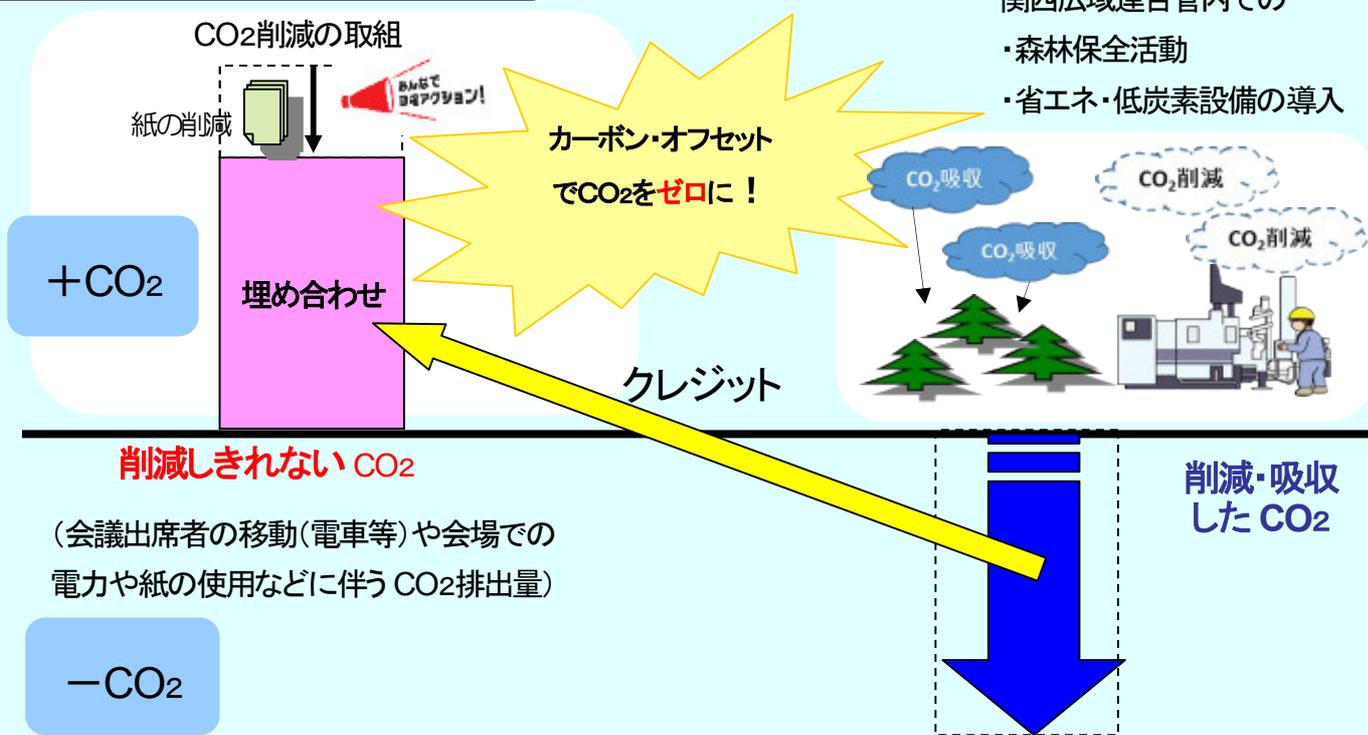
国の制度により関西広域連合管内で創出されたクレジットから、森林保全活動によるもの（夏季）、省エネ・低炭素設備の導入によるもの（冬季）により、それぞれオフセットを行う。

平成27年12月24日 広域連合委員会  
 “カーボン・ゼロ会議”として開催！

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、クレジットの広域活用に取り組んでいます。このたび、「広域連合委員会」の開催に伴って発生するCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセット<sup>※</sup>することにより、“カーボン・ゼロ会議”として開催し、地球温暖化対策の推進に貢献します。

※ 自己の活動による温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収により創出された削減量等（クレジット）を購入してオフセット（埋め合わせ）することをいいます。市民や事業者等が主体的に地球温暖化対策に貢献できる手段の1つです。

カーボン・オフセットのイメージ



- “カーボン・ゼロ会議”は、関西広域連合の「夏の節電アクション」「冬の節電アクション」に合わせ、各1回ずつ実施します。
- 今回は紙の削減など独自のCO<sub>2</sub>排出削減の取組により、排出量が夏季と比較して約8%減少する見込みです。
- 取組結果は連合ホームページに掲載するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

カーボン・オフセット宣言

夏季の会議(9月27日開催)に伴い発生した、約700kg-CO<sub>2</sub>は、関西圏域で創出された森林吸収系のクレジットでオフセットしました。今回の取組は環境省の「カーボン・オフセット宣言」登録しています。

<http://j-cof.go.jp/sengen/>

地域の子カラを結集し、個性とパワーあふれる関西へ！